

2013 年度 CTVCーカトリック東京ボランティアセンター 活動報告

1. 2013 年度の動き

今年度も日本のカトリック教会の被災地支援「オールジャパン体制」のもと、主に宮城県南部と福島県全域での活動を継続した。

支援活動地として福島県福島市、白河市、南相馬市、会津若松市、宮城県亶理郡での活動を継続した。被災地域や避難地域で自主的に支援活動を実施しているカトリック松木町教会、白河教会、原町教会、会津若松教会、亶理教会や NPO（きらきら星ネット、東京）などのグループと連携し、「ボラパック」（数日間のボランティア企画）やイベントの実施、物資支援などを実施した。

南相馬市では「カリタス原町ベース」の運営を継続した。ボランティアを受け入れ、南相馬市鹿島区の社会福祉協議会と連携し、がれき撤去などのボランティア活動や地元の支援団体と連携し仮設住宅でのカフェサロンを実施した。

被災地全域のベースへの短期・長期ボランティアの募集・選考・派遣を行った。また仙台教区サポートセンターが主催する「全ベース会議」に参加、2012 年から実施している「福島ブロック会議」は 2012 年 12 月より主催を CTVC から福島デスクへと移行させたが、参加グループとして参加を継続している。

特に福島においては長期化する避難生活の中で、支援のあり方も変化した。福島市の宮代仮設住宅では、入居者の方々が一方的に支援を受け続けるというあり方から、入居者自らがイベント企画の中心となっていくような動きがみられ、「ふれあいバザー」など周辺地域に向けた参加型のイベントが企画されるようになった。白河市では、入居者の転居による人数の減少や、避難生活の長期化ゆえ仮設住宅内の人間関係にも難しさが表面化する中で、きめの細かい傾聴活動を継続している。

一方、被災地以外の地域における被災地支援への意識は格段に低下しており、ボランティアの減少も深刻化した。「忘れない」を合言葉として掲げ、今年度は 5 月に東京で「復興支援ふれあいフェスタ」を企画・実施し、30 を超える活動団体とともに今後の支援活動についてアピールした。昨年度に引き続き、講演会シリーズ「福島から語る」の実施や「かわらばん」の配布、ホームページやフェイスブックの活用、東京教区ニュースでの連載などを通して情報提供・共有を図った。

いくつかのグループにより地道な支援活動が継続されてきた亶理地区では、横のつながりを深め、協力し合える仕組みづくりとして 11 月、亶理教会や支援グループとともに「チーム亶理」を発足させた。

2. 各地活動

(1) 宮城県南部

亶理町および山元町にて「ボラパック」を催行し、仮設住宅集会所や沿岸地域の集会所でカフェを開催した。7 月～8 月には亶理町吉田「マイファーム亶理」にてトマトの収穫作業に参加した。また、カトリック亶理教会、NPO 法人亶理いちごっこ、おてら災害ボランティアセンター、山元町震災復興土曜日の会と連携し、地域の活動やイベントに参加した。

11 月には、亶理町で活動するカトリック教会関連のグループで会合を開き、「チーム亶理」を結成し

た。

<ボラパック>

ボラパック開催回数:9回

ボランティア総数:194名

・ **第11回ボラパック(企画型・目黒星美学園中学高等学校)**

日程:2013年7月27日~29日

場所:亘理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所(7/27)

マイファーム亘理(7/29)

活動内容:せいびっこカフェ開催、トマト収穫作業

カフェ参加者数:約20名

ボランティア人数:23名

・ **第12回ボラパック(企画型・聖心女子学院 SOFIS)**

日程:2013年8月5日~7日

場所:亘理町公共ゾーン仮設住宅第3集会所(8/6)

活動内容:みこころカフェ開催

カフェ参加者数:約15名

ボランティア人数:37名

・ **第13回ボラパック(企画型・カトリック雪ノ下教会中高生会)**

日程:2013年8月10日~13日

場所:マイファーム亘理(8/11)

亘理町公共ゾーン仮設住宅第2集会所(8/12)

活動内容:トマトの収穫作業、ゆきカフェ開催

カフェ参加者数:約20名

ボランティア人数:22名

・ **第14回ボラパック(企画型:浦和明の星女子高等学校・城星学園高等学校)**

日程:2013年8月19日~21日

場所:マイファーム亘理(8/20)

吉田公民館(8/21)

活動内容:トマト収穫作業(雨天により中止)、亘理いちごっこお茶のみサロン参加

カフェ参加者数:約20名

ボランティア人数:22名(浦和明の星10名、城星学園12名)

・ **第15回ボラパック(企画型・カリタス小学校教員有志)**

日程:2013年8月25日~26日

場所:マイファーム亘理(8/26)

活動内容:トマトの収穫作業

ボランティア人数:19名

・ **第16回ボラパック(企画型・白百合女子大学)**

日程:2013年9月6日~8日

場所: 亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所(9/7)

活動内容: インターナショナルカフェ開催

参加者数: 約25名

ボランティア人数: 19名(白百合女子大学9名、仙台白百合女子大学10名)

・ **第17回ボラパック(公募型)**

日程: 2013年11月2日~4日

場所: 亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所(11/3)

山元町みんなのとしょかん(11/4)

活動内容: わたりかりたスカフェ・やまもとかりたスカフェ開催

参加者数: 約20名(11/3)、約20名(11/4)

ボランティア人数: 8名(ボラパック6名、原町2名)

・ **第18回ボラパック(企画型・聖園女学院高等学校)**

日程: 2013年12月27日

場所: 亶理町NPO法人亶理いちごっこ

活動内容: いちごっこカフェレストランの清掃

ボランティア人数: 7名

・ **第19回ボラパック(企画型・目黒星美学園中学高等学校)**

日程: 2014年3月28日~30日

場所: 亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所(3/29)

山元町牛橋区民会館(3/29)

活動内容: せいびっこカフェ開催

参加者数: 20名(亶理)、22名(山元)

ボランティア人数: 37名

<物資支援>

- ・ 2013年6月、山元町花釜区の要請を受けて、旧JR山下駅前・橋元商店内にAEDを寄贈。
- ・ 2014年2月、山元町住民の支援要請を受けて、3月11日追悼イベント(竹灯籠)のろうそく募集を1月25日講演会およびメールリングリストで呼びかけた。

<他団体との連携>

- ・ 2012年11月~山元町震災復興土曜日の会の会合に出席。(山元町・普門寺)
- ・ 2013年11月チーム亶理の第1回会合開催。(亶理教会)
参加者: 八木山教会オリーブの会(野田)、さいたま教区(藤田神父)、亶理教会(ホセ神父・長嶋・清野)、原町ベース(前田)、CTVC(漆原・辻・山崎)、SDSC(小野寺神父、Sr.長谷川、小野)

<その他>

- ・ 2013年4月27日、仙台教区滞日外国人支援センター主催ヘルパー2級養成講座の修了式に出席。(亶理教会)
フィリピン人修了生15名。

(2) 福島県福島市

2011年8月より、福島市カトリック松木町教会「愛の支援グループ」との協働のもと、浪江町から避難している福島市宮代仮設住宅にて活動を開始。宮代仮設住宅は現在47世帯。約90名が暮らす。その多くは65歳以上の高齢者であり、中には独居の高齢者が1割ほど居住している。発災3年目の2013年には、福島市内や南相馬市、相馬市などに転出する入居者が増える一方、借り上げ住宅などから転入するケースもあり、先の見えない避難生活により、それぞれの選択が行動となりあらわれた一年だった。

本活動では、お抹茶と茶菓子を食べながらのお茶っこ「ふれあい茶の湯」を中心に毎月行われるお誕生会や、浪江で行っていたであろう年中行事をともに祝うイベントを中心に月2回の活動を継続して行った。

また2013年4月からは、同じく福島市内の野田町教会有志も活動に加わり、教会同士の連帯も生まれ、より活発な活動が行われた。

CTVCでは2013年度も引き続き、宮代仮設住宅自治会及び愛の支援グループ・野田町教会と調整を行い、「ボラパック」としてボランティアや炊き出しチームを派遣、浪江盆踊り大会、温泉ツアーやクリスマス会、餅つき、お正月、初釜など季節のお祝い事などを中心にイベントを実施。計25回のボラパックを実施した。

<ボラパック>

ボラパック開催回数：25回

ボランティア総数：636名（現地ボラ262名、CTVC339名、その他35名）

参加者（受益者）総数：726名

- ・ **第35回ボラパック（お花見）**

日時：2013年4月11日～12日

場所：福島市花見山

参加者数：35名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ21名

- ・ **第36回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2013年4月26日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：20名

ボランティア人数：現地ボラ5名、CTVCボラ8名

- ・ **第37回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2013年5月16日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：約20名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ3名

- ・ **第38回ボラパック（ふれあいバザー）**

日時：2013年5月24日～25日

場所：宮代第一仮設住宅集会所前広場

参加者数：約 100 名

ボランティア人数：現地ボラ 25 名、CTVC ボラ 11 名

カフェコーナー出店：田園調布教会有志（5 名）

・ **第 39 回ボラパック（茶の湯とカレー祭り）**

日時：2013 年 6 月 7 日～8 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：約 30 名

ボランティア人数：現地ボラ 11 名、CTVC13 名

・ **第 40 回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2013 年 6 月 21 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：16 名

ボランティア人数：現地ボラ 9 名、CTVC ボラ 9 名

・ **第 41 回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2013 年 7 月 12 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：約 20 名

ボランティア人数：現地ボラ 10 名、CTVC ボラ 11 名

・ **第 42 回ボラパック（花火大会）**

日時：2013 年 7 月 27 日～29 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：38 名

ボランティア人数：現地ボラ 2 名、CTVC ボラ 15 名

・ **第 43 回ボラパック（夏祭り）**

日時：2013 年 8 月 17 日～19 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所前広場

参加者数：約 70 名

ボランティア人数：現地ボラ 8 名、CTVC ボラ 19 名

・ **第 44 回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2013 年 8 月 30 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：18 名

ボランティア人数：現地ボラ 10 名、CTVC ボラ 9 名

・ **第 45 回ボラパック（敬老会）**

日時：2013 年 9 月 14 日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：約 40 名

ボランティア人数：現地ボラ 10 名、CTVC ボラ 11 名

- ・ **第46回ボラパック（ふれあい茶の湯）**
 日時：2013年9月27日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：18名
 ボランティア人数：現地ボラ5名、CTVCボラ18名
- ・ **第47回ボラパック（ふれあい茶の湯）**
 日時：2013年10月11日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：16名
 ボランティア人数：現地ボラ11名、CTVCボラ7名
- ・ **第48回ボラパック（バーベキュー）**
 日時：2013年10月18日～19日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所前広場
 参加者数：26名
 ボランティア人数：現地ボラ9名、CTVCボラ8名
 炊き出しチーム；碑文谷教会21名
- ・ **第49回花いっぱいキャンペーンボラパック**
 日時：2013年10月25日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：20名
 ボランティア人数：現地ボラ3名、CTVC3名
 日本家庭園芸普及協会：5名
- ・ **第50回ボラパック（ふれあい茶の湯）**
 日時：2013年11月8日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：16名
 ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ8名
- ・ **第51回ボラパック（楽しい昼食会）**
 日時：2013年11月29日～30日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：23名
 ボランティア人数：現地ボラ19名、CTVCボラ14名
 炊き出し隊：麻布教会8名
- ・ **第52回ボラパック（クリスマス会）**
 日時：2013年12月13日～14日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：約50名
 ボランティア人数：現地ボラ27名、CTVCボラ13名
 メサイア合唱団（福島市）：18名

イエスのカリタス修道女会スモールクワイア：7名

・ **第53回ボラパック（餅つき大会）**

日時：2013年12月27日～28日

場所：宮代第一仮設住宅集会所前広場

参加者数：41名

ボランティア人数：現地ボラ14名、CTVCボラ25名

山口からのボランティア：4名

・ **第54回ボラパック（初釜）**

日時：2014年1月17日～18日

場所：福島市御倉邸

参加者数：20名

ボランティア人数：現地ボラ19名、CTVCボラ12名

・ **第55回ボラパック（旧正月）**

日時：2014年1月31日～2月1日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：25名

ボランティア人数：現地ボラ5名、CTVCボラ3名

炊き出し隊：雪ノ下教会：20名

・ **第56回ボラパック（ふれあい茶の湯）**

日時：2014年2月21日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：18名

ボランティア人数：現地ボラ9名、CTVCボラ7名

民話の会：2名

・ **第57回ボラパック（ひな祭り）**

日時：2014年2月28日～3月1日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：22名

ボランティア人数：現地ボラ11名、CTVCボラ14名

メサイア合唱団：4名

炊き出しチーム：ヌヴェール会5名

・ **第58回ボラパック（温泉ツアー）**

日時：2014年3月28日～29日

場所：飯坂温泉「大鳥」

参加者数：24名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ13名

<物資支援>

特になし

<その他>

- ・ 2013年7月14日 慈生会の支援を受け、カトリック松木町教会の教会学校の児童と家族を対象に日帰り保養遠足を実施した。(会津・猪苗代)
- ・ 2014年3月17日 松木町教会にて開催された活動写真展に宮代の入居者を招待した。

(3) 福島県白河市

2011年9月より、白河市カトリック白河教会の信徒を含む傾聴グループ「白河・みみずく」との協働のもと、白河市内にある中田グラウンド仮設住宅、郭内仮設住宅にて活動を開始。中田グラウンド仮設住宅は、白河市、南相馬市、浪江町など各地からの避難者が混在する仮設住宅。また郭内仮設住宅は、双葉町からの避難者が入居する。みみずくでは、2011年8月よりこれら二つの仮設住宅にて週一回の傾聴訪問を主活動とし、定期的に集会所を利用したイベントも行っている。

CTVCでは、定期的に行われるイベントにボラパックとしてボランティアを派遣。また、2012年9月からは、白河担当のスタッフ3名が第1週から3週にかけて交代で白河に赴き、傾聴活動に参加している。

現在、中田仮設住宅に留まっている入居者は120世帯中24世帯に減少。2014年4月以降、統廃合などの再編が行われるかどうか、市レベルでも明らかでない。郭内仮設住宅は変動なしか、微増(加須からの移動者)する情報が寄せられている。(58世帯)

入居者の一部の人たちではあるが、自分たちで仲間を誘い旅行、食事会を企画、実施している。3年たってボランティア依存から自力再生が感じられる。(世帯数は2014年3月31日現在)

【傾聴活動】

第1～第3火曜日午後3時頃から約1時間各戸訪問を続けている。

メンバーは創立時から病気で退いた方1名を除いて5名。

継続はかなりの通り、定期的な訪問活動に対する中田、郭内仮設住宅入居者の評価は高い。

2013年下期から第4火曜日を研修日にあてている。

CTVCからも第1週から第3週にかけて、担当スタッフが交代で傾聴活動に参加している。

<ボラパック>

ボラパック開催回数：4回

ボランティア総数：92名(現地ボラ26名、CTVC66名)

参加者(受益者)総数：378名

・ 第6回ボラパック(ひな祭り)

日時：2013年3月3日

場所：中田仮設住宅

参加者数：30名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ10名

・ **第7回ボラパック（お花見）**

日時：2013年4月22日～23日

場所：小峰城趾公園

参加者数：90名（中田・郭内2仮設合同）

ボランティア人数：現地ボラ5名、CTVCボラ31名

・ **第8回ボラパック（夏祭）**

日時：2013年8月19日～21日

場所：中田仮設住宅

参加者数：58名（中田・郭内2仮設合同）

ボランティア人数：現地ボラ5名、CTVCボラ17名

※鮫川・明日飛学園訪問（知足庵祝別ミサ）

・ **第9回ボラパック（農協祭）**

日時：2013年11月2日～3日

場所：JAしらかわ

参加者数：200名

ボランティア人数：現地ボラ6名、CTVCボラ8名

(4) 福島県南相馬市（カリタス原町ベース）

①福島県南相馬市の現状

2013年4月1日に福島第一原発付近の制限区域が再編成され、浪江町海岸沿いの地域が「避難指示解除準備区域」とされたことにより、日中の出入り可能な地域がより広がった。「避難指示解除準備区域」では、道路、水道、下水道などの生活インフラは概ね復旧を終え、12月24日から2014年1月7日までの特例宿泊を実施。

除染に関して。比較的線量の高い山際の地域については仮置場を確保。概ね除染が完了。しかし、12月末に国直轄の除染作業の期間が最大3年間延長されたことを受けて、避難中の住民からは復興や帰還の遅れを懸念する声も聞かれる。

水道、下水道については、復旧を終え、道路は被災道路123箇所のうち96箇所が復旧を完了。また防災集団移転事業は、16地区の住宅団地造成工事に着手し、そのうち4地区が完了した。完了地区から順次手続きを進めている。災害公営住宅整備については、早いところで平成26年3月から供用開始が出来るよう推進している。仮設住宅では、小高区に自宅がある家族以外は、家の新築などで引っ越しをしていかれる家族も徐々に増えている。

震災以降、小高区役所の機能を南相馬市役所内に移転していたが、2013年4月1日から通常通り証明書の発行や産業・建設などの業務を再開した。さらに、2013年4月19日には、南相馬市災害復旧復興ボランティアセンター（社協）受付が鹿島区から小高区役所近くの老人福祉センターに移転した。それによって、活動場所への移動時間が半分に減少された。

高速料金無料措置などの制度がなくなったこともあり、ボランティアの数が激減し、活動の進捗

状況も遅々とした動きである。活動日も木曜日から日曜日に限定され、しばしば、土日の2日間の活動となる。

②福島県南相馬市での活動

南相馬市民は全員、地震・津波・原発事故の影響で、一旦は屋内待機や市外・県外へ避難された被災者である。南相馬市にある仮設住宅32か所のうち、北部の鹿島区には、仮設住宅が27か所建てられている。鹿島区は福島第一原発から30km圏外にあることから、いち早く仮設住宅が建設された。そして、中央部にあたる原町区には、避難解除後の2012年に、5か所建設された。

カリタス原町ベースは南相馬市の中央にある原町区にあり、北にある鹿島区の仮設住宅集会所でのサロン活動と、南にある小高区の避難解除準備区域にある家々からの依頼を受けた屋外活動を中心にしている。

サロン活動は主に、傾聴、交流会、音楽会、講演会などのイベントの提供・協力・支援をしている。

屋外活動は主に、家財道具の片づけ、庭の手入れ、田畑の草刈り等をしている。基本的には、南相馬市社会福祉協議会（社協）のボランティアセンターを通じた活動である。

沿岸部を始めとする被災地視察案内も重要な活動と位置づけている。現地の「今」の様子の報道が少なくなってきた中、震災後そのまま手つかずの状況に置かれている現状を見て、知っていただく機会としている。人類が「命」を軽んじることのないよう伝えていきたい。

③カリタス原町ベース

2012年6月1日南相馬市原町区青葉町2丁目35に8つ目のボランティアベースとして「カリタス原町ベース」を設置した。

カリタス原町ベースは次のことを活動目標としている。（2013年2月制定）

カリタス原町ベースは、

- ① 東日本大震災と原発事故により困難な状況におかれている人々を支える地元の活動に協力し
- ② 福島の現実とそこに生きる人々の思いを世界中の人々につないでいく拠点である。

- 1) 地域の人々と交わりを大切にし、地域の復興に協力する。
- 2) 各地からのボランティアを受け入れ、地域へ派遣する。
- 3) 福島第一原発から25kmにあるベースとして、共に祈り、学ぶ。

2013年度はより多くのボランティアを受け入れられるよう、ベース内のリフォームを行った。これにより20人の宿泊が可能となった。

ベースには常時10人程度のボランティアが滞在し、週末に行われる社協ボランティアセンターでの活動や仮設住宅でのサロン活動に参加。また、ベース内で行われている地域活動「とまとサロン」にも参加した。

CTVCの活動地域の宮城県南部と福島県全域の中にあるベースとして本体活動に協働。福島・宮代ボラパック「ふれあい茶の湯」には原町ベースからも参加。ボラパック参加者の希望者に、原町への案内を行った。また、宮城県南部の亘理ボラパックでは、原町ベーススタッフやボランティア

が協働した。

<ボランティア活動内容：通常の活動>

常時 10 人程度のボランティアが滞在し、屋外・屋内活動に参加した。

- 1) 屋外活動：南相馬市社会福祉協議会（社協）を通して依頼される活動を行った。
内容：南相馬市小高区内—「避難指示解除準備区域及び居住制限区域」において家財道具整理や処分や草刈りと樹木の剪定
- 2) 屋内活動：応急仮設住宅集会所でのボランティア活動を行った。
内容：社協から紹介された集会所や和みサロン「真こころ」カフェにおいて、傾聴、手芸・パッチワーク、足湯、交流会、講話、演奏会等の準備・企画・実施を行った。
- 3) やさい配り：福島やさい畑（二本松）と連携し、仮設住宅各戸（各回 150 戸～200 戸）に毎週火曜日やさい配布を行った。
- 4) ベース内の活動支援：とまとサロン、ヨガ教室、俳句会、卓球、大正琴（それぞれ、月 2 回）
- 5) 被災地視察案内：初めてこの地を訪れるボランティアを中心に被災地を案内した。
- 6) 講演等の調整等：地元の方の講演の調整や各地での活動報告を行った。

<特別イベント・ボランティア活動等>

- ・ 足湯のボランティア
日程：6 月～ 月 1 回
- ・ JLMG ゴスペルコンサート
日程：6 月 15 日（土）
参加人数：①牛河内第一仮設住宅集会所 15 名
②角川原仮設住宅集会所 20 名
- ・ 日本女子修道会総長管区長会（生涯養成委員会）福島・いのちの旅
日程：6 月 24 日（月）～26 日（水）
参加人数：16 名
活動内容：被災地視察—浪江町、小高区視察、やさい配り、サロンの補助
講演：①狩浦正義師（カトリック原町教会）
②田中徳雲住職（南相馬市小高区同慶寺）
③高橋美加子氏（南相馬市原町区北洋舎クリーニング）、松野美紀子氏（南相馬市鹿島区真こころ）
- ・ 東日本大震災仙台教区復興支援 第 3 回全国担当者会議
日程：6 月 26 日（水）
活動：被災地視察案内 2 コース
- ・ 「じゃぶじゃぶ池」オープンイベント、ブース（フリーマーケット）
日程：7 月 20 日（土）～21 日（日）
活動内容：イベント参加
活動場所：原町区高見町高見公園
活動人数：5 名

- ・ 野馬追祭
 日程：7月27日(土)～28日(日)
 活動内容：野馬追祭実施に際し、烏帽子と白装束の貸与を受け、小高区にある相馬太田神社から野馬追祭場までの行列にボランティアとして参加した。
 活動場所：南相馬市小高区～原町区
 活動人数：18名
- ・ 聖心女子学院姉妹校交流研修会(SOFIS)
 日程：8月5日(木)～7日(土)
 活動内容：亙理ボラパックとの協働。南相馬の高校生との交流会実施の支援を行った。
- ・ 広島学院高等学校
 日程：8月12日(月)～31日(土)毎週(生徒5人と引率1人を1組にして参加)
 活動内容：屋外、サロン、視察、やさい配り等。広島の高中生と南相馬の高中生との夕食会 (8/13、8/22)
 活動人数：計 14名
- ・ 東日本震災仙台教区復興支援第23回仙台教区サポート会議
 日程：8月23日(金)
 活動内容：南相馬被災地案内。被災者(桜井勝秀氏)講演の実施支援
- ・ とまとサロン5周年記念祝賀イベント
 日程：9月10日
 活動内容：1階談話室で実施支援
- ・ 「アジア部会オフサイトミーティング2013」(中外製薬、大塚製薬等の製薬会社の研修会)
 日程：9月21日
 活動内容：南相馬被災地視察、屋外活動、サロン活動の実施支援
 活動人数：35名
- ・ 南相馬市鎮魂復興市民植樹祭
 日程：10月6日(日)
 活動内容：3000名が2万本の苗木を植樹する活動に参加。
 活動人数：20名
- ・ 花いっぱいキャンペーン
 日程：10月26日(土)、27日(日)
 活動内容：花だんご1500個を作り、植えたほか、種子の団子作りとチューリップの植え方等の講習と実演、各世帯に、チューリップ球根5個と花の種子を配布
 - ① 活動場所：鹿島区寺内第一仮設集会所 参加人数：17名
 - ② 活動場所：鹿島区角川原仮設集会所 参加人数：19名
 - ③ 活動場所：原町区雫地区の休耕田 参加人数：15名
- ・ 上智大学ソフィア祭 ボランティアイベント

日程：11月1日(金)～4日(月)

参加人数：約30名

- ・オルガンと歌によるメディテーション

日程：11月9日(土)

活動場所：カトリック原町教会

参加人数：7名

活動内容：東京スコラ・カントールム合唱団(27人)、エピファニー合唱団(10人)の合同の合唱。青田絹江オルガニストによる瞑想。夕食時にベースにて交流会開催(約40人参加)。浪江町から避難した方々のお話。

- ・あった会—遺留品の返却

日程：11月から月1回

活動場所：鹿島区さくらホール内図書室

活動人数：2～3名

- ・クリスマスコンサート

日程：12月15日(日)

活動場所：フローラ原町

参加人数：4名

活動内容：エピファニー合唱団による合唱に参加支援

- ・気晴らし会

日程：12月18日(水)

活動場所：南相馬市原町区大原 ログハウス

参加人数：9名

活動内容：開催支援

- ・JLMMゴスペルクリスマスコンサート

日程：12月21日(土)、22日(日)

活動場所：「真ころ」2か所

参加人数：11名

- ・サンタ企画

日程：12月21日(土)～23日(月)

活動場所：南相馬市仮設住宅

参加人数：約30名

活動内容：仮設住宅各戸にクリスマスプレゼント配布活動

- ・聖心会アジア管区長会 南相馬視察

日程：2014年2月7日(金)終日

活動場所：福島市・南相馬市

参加人数：10名(アメリカ、韓国、フィリピン、インド、インドネシア、オーストラリア)

- ・雪かき作業

日程：2014年2月9日(日)、10日(月)

活動場所：原町教会、ベース、近隣の家、施設、仮設住宅 他

参加人数：6～10名

・ 南相馬ボラパック

日程：2014年2月26日(水)～27日(木)

活動場所：南相馬市小高区

参加人数：8名

活動内容：初めての試みとして、東京発着便の南相馬ボラパックを企画。社協からの依頼の日程でボランティアを募集、参加した。

・ 東日本大震災追悼

日程：3月11日(火)及びその前後

活動内容：11日(火)カトリック麴町教会(東京・四谷)と同慶寺(南相馬市小高区)の2か所同時に「祈りの集いと法要」を共有した。

15日(土)原発事故による被災を意識した祈りの集いをカトリック原町教会主催で開催。運営に協力した。

・ 真こころサロン主催「餅つき大会」

日程：3月27日(木)

活動内容：真こころサロン主催のイベントの開催運営支援。カトリック西千葉教会、カトリック北大阪教会、カトリック原町教会からも支援があった。

⑤ 和みサロン「真こころ」支援

南相馬市鹿島区にある、寺内第一応急仮設住宅、牛河内第一応急仮設住宅、角川原応急仮設住宅の各集会所で行われている、和みサロン「真こころ」の活動にボランティアを派遣する他、運営への協力支援を行った。

⑥ 原町ベース開所1周年記念感謝イベント

原町ベース近隣の方々や日ごろの活動を通じてお世話になっている方々を招待し、原町ベース開所1周年記念感謝イベントを開催。

バーベキュー大会や「とまとサロン」の方々の歌や器楽演奏、盆踊りなどの出し物などを行った。

開催日：2013年6月1日(土)

⑦ ベース改装

聖ヨハネ祭(カトリック桜町教会)の支援により、ベースを宿泊施設としてよりよく活用できるように、ベース内のリフォームを行った。

改装場所：ベース1階台所新設、1階トイレ増設、シャワー室新設、2階トイレ増設

改修日程：2013年5月

⑧ 会議

カリタス原町ベースの運営等のため次の日程で原町会議を行った。

①第4回 2013年4月19日(金) 原町ベース

- ②第5回 2013年5月31日(金) 原町ベース
- ③第6回 2013年10月30日(水) 原町ベース
- ④第7回 2014年1月28日(火) 大原ログハウス

⑨ 物資支援

応急仮設住宅からの要請や支援者からの申し出により物資支援の仲介等を行った。支援者からの物資は、内容や個数を確認し、毎週のやさい配布の時に共に配布できるものは配布している。

配布物資：お茶、手袋、缶詰など

手芸をしている仮設住宅集会所に手芸材料を提供（継続）

⑩ 諸機関との連携・協働

南相馬市で活動する諸機関と協働し活動を展開したほか、連携を図った。

- a) 「あった会—遺留品の返却」の支援 鹿島区さくらホール内図書室内
- b) 和みサロン「真こころ」
- c) 自立研修施設「えんどう豆」の活動を支援（缶バッジ等の販売も含む）
- d) 太田地区復興会議/太田地区区長会/太田まちづくり委員会（Tシャツ販売）
- e) 癒しのサロン—小高区からの避難者への支援をしているグループ
- f) 福興浜団の浪江町捜索ボランティア
- g) 同慶寺（南相馬市小高区）
- h) 相馬市ケアセンターなごみ

⑪ ボランティア数の推移と受益者数の推移

	ボラン ティア数	受益者数						
		仮設 サロン	屋外 活動	やさい 配り	被災地 案内	学習 支援	足湯	計
4～6月	182	2,196	174	3,896	250	60		6,576
7～9月	233	1,137	214	1,407	132	70	282	3,242
10～12月	187	641	183	2,777	180	19	135	3,935
1～3月	1,084	903	120	897	232		144	2,296
計	1,686	4,877	691	8,977	794	149	511	16,049

(5) 福島県会津若松市

2012年5月より有志を募り支援活動を行ってきたカトリック会津若松教会の社会福祉部とともに、県内自主避難家族の、主に母親と子どもたちの支援を継続した。

CTVCでは生活用品（消耗品、乳幼児用品等）の支援を首都圏の支援者をつなぎ、継続的な支援を実施した。教会敷地内の施設を開放、物資支援の拠点とし、会津若松市近郊に点在するお母さん達の交流の場となるよう活動を実施。CTVCからスタッフが現地に赴き、月に1回会津若松教会で、避難母子と支援グループによる情報共有と打ち合わせを実施した。

今年度は8月に保養合宿を実施。避難母子同士や会津若松教会メンバーとの関わりが深まり、10月の米沢保養遠足を通して、より家庭的な雰囲気の中で友情や信頼関係が生まれ、コミュニティが築かれていった。

また今年度から、CTVCスタッフの定期訪問に際して、県内自主避難母子の状況の聞き取りと、会津若松教会福祉部との会合を別日程で設定し、どのような支援方法にすべきか、綿密に打ち合わせするようにした。長期化する避難生活の中で、避難先の地域住民である会津若松教会のメンバーとの親しい交流を図るため、また傾聴とニーズの聞き取りのチャンスを増やすため、地元の料理やお菓子を一緒につくる集いを2014年1月に実施。以後、定期的に開催することとした。

① 支援者による視察

- ・2013年5月30日 支援者であるカトリック上野毛教会有志が会津若松教会を訪れ、自主避難者及び会津若松教会ボランティアと意見交換会を行った。

② 保養合宿・遠足

- ・2013年8月5日～8日 自主避難家族13名を対象とした保養合宿（不二聖心山の家）
- ・2013年10月26日 芋煮保養遠足（米沢市）

③ その他

- ・2014年1月29日 お母さんを対象にした会津郷土料理「こづゆ作り」

(6) 福島全般

① 福島県の現状を知るための視察ツアーを実施した。

- ・2013年5月26日～28日 東京正義と平和委員会
- ・2013年6月24日～26日 日本女子修道会総長管区長会生涯養成運営委員会
- ・2013年7月13日～14日 ベトレヘムの園病院

(7) 東京

① 福島避難母子支援

東京都内の避難世帯支援を行う「きらきら星ネット」に協力し、チャリティイベントでの物資支援呼びかけ、定例ミーティング等の活動に参加した。山形県米沢市にて隔月開催の「米沢きらきらさろん」にも物資支援募集や当日の活動補助も行った。

<きらきら星ネットのイベント参加>

2013年5月4日	きらきらサロン&チャイルドルーム（ニコラ・バレ）
2013年5月11日	東日本大震災復興支援ふれあいフェスタ【共催】 （聖心インターナショナルスクール）
2013年5月19日	きらきら春のバスハイク（熱川・ワニ公園）
2013年6月9日	Yukari コンサート IN 四ッ谷（ニコラ・バレ）
2013年7月17日	講演会「傷つけられた世界を癒すために」
2013年9月11日	福島原発被害東京訴訟第2回期傍聴（東京地裁）

	講演会「福島・区域外避難と私たち」(四ッ谷)
2013年9月18日	講演会「脱原発に向けて、今、建築を考える」(聖ががが教会)
2013年9月28日	米沢きらきらさろん(米沢・おいたまサロンふわっと)
2013年10月22日	平成27年住宅問題の集まり
2013年10月23日	広域避難者支援研修会
2013年11月27日	福島原発被害東京訴訟第3回期傍聴(東京地裁)
2013年12月1日	六番町くらぶクリスマスコンサート(ニコラ・バレ)
2013年12月8日	講演会「災害を経験した子供たちと向き合う」
2014年2月1日	米沢きらきらさろん(米沢・おいたまサロンふわっと)
2014年3月9日	春のチャリティバザー(ニコラ・バレ)
2014年3月11日	東日本大震災祈念イベント「思いつづける3.11 ～被災者・避難者のために祈るつどい～」【共催】(聖ががが教会)
2014年3月23日	きらきら星ネット3.11写真展(ニコラ・バレ)
2014年3月26日	福島原発被害東京訴訟第5回期傍聴(東京地裁)
2014年3月29日	米沢きらきらさろん(米沢・おいたまサロンふわっと)

<物資支援募集>

CTVC ブログ・メーリングリストにて物資支援募集を掲載した。

- ・2013年9月 米沢きらきらさろん(9月28日開催)
- ・2014年2月 春のチャリティバザー(3月9日開催)

(8) その他の被災地

仙台教区サポートセンターの各地のベース活動支援のため、短期・長期ボランティアを募集し、オリエンテーション、派遣・活動報告会を実施した。今年度はのべ12名の長期ボランティアを各ベースに派遣した。派遣は以下の通り。

原町	6月3日～6月16日
米川	8月2日～8月16日
米川	9月6日～9月21日
原町	9月16日～9月29日
原町・米川・大船渡	11月16日～12月19日
原町	12月9日～12月22日
原町	1月6日～1月30日
原町	1月8日～2月14日
原町	1月31日～2月27日
原町	2月15日～2月28日
原町	2月28日～3月17日
原町	3月7日～3月23日

3. 広報

2011年6月より活動報告と、より広い活動の周知のため「CTVC ニュース」を隔週で発行。2012年1月からは「かわらばん！」と改名、月1回の発行とした。また、月間レポートを2011年8月より関係諸団体に向けて発行した。

2012年1月より東京教区ニュースにCTVC連載記事を掲載開始した。

CTVC活動報告パンフレットを作成し頒布した。

4. 報告会・連絡会

東京教区内で支援活動を行っている小教区、修道会、グループの情報共有と連携を深めるため連絡会を行った。また福島の実態を伝えるシリーズ「福島から語る」講演会を年4回実地した。ボランティア報告会や活動説明会、バザーへの出展など、支援活動への協力と活動の周知を図った。

<シリーズ「福島から語る」>

- 2013年6月29日 第6回連絡会とシリーズ「福島から語る」講演会
(東京在住避難者の方と信木美穂氏、きらきら星ネット)
- 2013年9月13日 シリーズ「福島から語る」講演会 (田中徳雲氏、南相馬市同慶寺)
- 2013年11月15日 シリーズ「福島から語る」講演会 (柳沼千賀子氏、NPO 福島やさい畑)
- 2014年1月25日 第7回連絡会と「被災地から語る」講演会
(馬場照子氏、NPO 互理いちごっこ)

<活動紹介・イベント出展・その他>

- 2013年5月11日 ふれあいフェスタ開催 (聖心インターナショナルスクール)
- 2013年6月2日 反原発集会に出展
- 2013年6月3日 CTVC活動紹介・講演 (聖心女子大学)
- 2013年6月5日 CTVC活動紹介・講演 (芝浦工業大学)
- 2013年6月15日 震災復興支援チャリティデーに出展参加 (聖心女子大学)
- 2013年7月7日 CTVC活動報告・紹介 (立川教会)
- 2013年7月14日 CTVC活動紹介 (金沢教会)
- 2013年9月15日 バザー出展 (目黒星美学園)
- 2013年9月22日 インターナショナルデー出展 (関口教会)
- 2013年10月6日 CTVC活動紹介・講演 (新潟・青山教会バザー)
- 2013年10月12日・13日 バザー出展 (星美短大文化祭)
- 2013年10月20日 バザー出展 (徳田教会)
- 2013年10月27日 バザー出展 (三軒茶屋教会)
- 2013年10月30日 CTVC活動紹介・講演 (東京教会管区会議)
- 2013年11月2日~4日 バザー出展・CTVC活動紹介 (上智大学ソフィア祭)
- 2013年11月18日 CTVC関連活動紹介・講演 (浦和明の星女子中高)
- 2013年12月17日 CTVC活動紹介・講演 (福島・桜の聖母短大クリスマス講演)
- 2014年1月17日 CTVC活動教会・講演 (聖心女子大学)

2014年2月8日	CTVC 活動紹介・講演（日本女子修道会総長管区長会-女性と子ども研修会）
2014年3月2日	CTVC 活動紹介・講演（田園調布教会）
2014年3月11日	「思いつづける3.11」 東日本大震災追悼・復興祈念ミサ（イグナチオ教会）
2014年3月16日	CTVC 活動紹介・講演（高輪教会）

5. 会議・スタッフミーティング

(1) 運営委員会

毎月1回、計10回運営委員会を実施した。

(2) スタッフミーティング

CTVC 事務局発足後、毎週月曜日にスタッフによるミーティングを行い、活動の報告と今後の活動についての調整、打ち合わせを行った。

(3) 福島ブロック会議

福島県内で活動しているカトリック教会、グループ間で情報共有し、連携を深めていくために福島ブロック会議を実施した。なお、2013年1月以降は、2012年12月に開設された仙台教区サポートセンター福島デスクが主催となって実施。CTVCはそのサポートを行った。

実施回数：3回

(4) 原町会議

2012年に立ち上げたカリタス原町ベースの活動についてCTVC全体で話し合う原町会議を実施した。また同じく原町で活動を行うカトリック系コミュニティとの連携・情報共有の場ともなった。実施回数：4回

(5) 外部会議

福島県、宮城県南部で活動する他団体との連携のため、カリタスベース関係及び外部団体主催の会議に出席した。（7回）

(6) 全国担当者会議

2013年6月25日～27日に行われた第3回東日本大震災仙台教区復興支援全国担当者会議において福島県北地域の視察プログラムを担当。全国から15名の担当者が参加した。最終日のシンポジウムは福島県郡山市の郡山教会で開催され、様々な支援の在り方として、東京教会管区からはカトリック雪ノ下教会が「雪プロ」の紹介を行った。

(7) SDSC 支援

仙台教区サポートセンター（SDSC）が編集し2013年3月11日に発行した冊子「東日本大震災支援活動 カトリック教会の歩み よりそいながら明日へ」の制作に際し、SDSCの要請に応え、事務局の辻明美が編集スタッフとして協力した。

■活動収支報告 2013 年度

(2013 年 4 月～2014 年 3 月)

収 入	(単位:千円)
カリタスジャパン援助金	35,231
一般献金・寄付	9,680
合計	44,911

支 出	(単位:千円)
プロジェクト直接費用	
被災者支援	14,745
原町ベース運営	15,462
物資支援	444
長期ボランティア派遣	300
アドボカシー	158
連携	150
プロジェクト間接費用	
プロジェクト車両費、事務費(通信費、 事務機器、文具、人件費など)	13,690
合計	44,949